

マーケットの動き（2025年4月14日～4月18日）

先週の為替市場は、前週末比で米ドルは対円で下落（円高）しました。

トランプ米政権による関税政策への不透明感や米国株式市場の下落などから、円買い・米ドル売りが優勢でした。16日の関税を巡る日米交渉の初会合で為替に対する言及はなかったとの報道から米ドルが買われる場面もありましたが、週を通じて円が買われました。

ユーロは前週末比、対円で下落した一方、対米ドルでは上昇しました。

投資環境見通し（2025年4月）

円に対して米ドル、ユーロともに弱含む

米ドル：米国では関税政策の不確実性が景況感に影を落とす中、日銀による追加利上げ観測を背景に、ドルは円に対して弱含むとみています。

ユーロ：ドイツ政府による財政規律の緩和やECB（欧州中央銀行）による利下げ姿勢と域内金利を巡り上下の材料が交錯する中、日銀による追加利上げ観測を背景に、ユーロは円に対して弱含むとみています。

	4月18日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	142.22	▲1.36	▲7.27	▲7.38	▲12.41
ユーロ/円	161.43	▲1.37	▲1.92	▲1.01	▲3.33

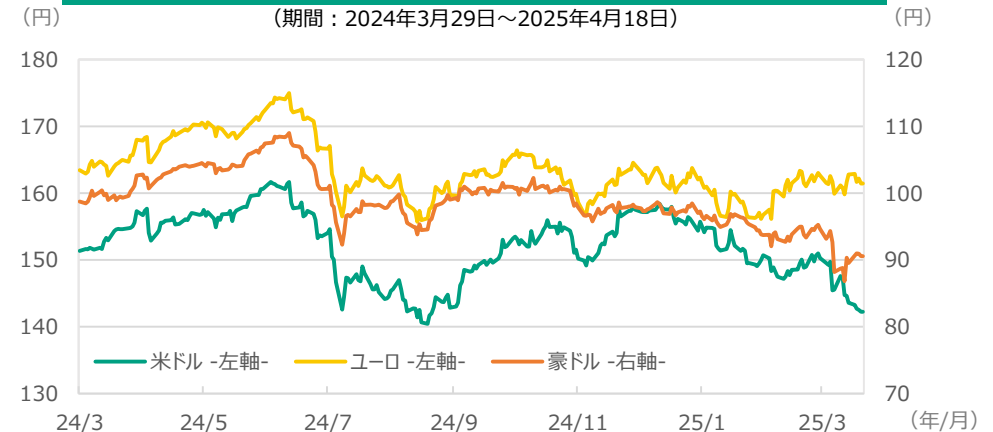
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202504_outlook.pdf

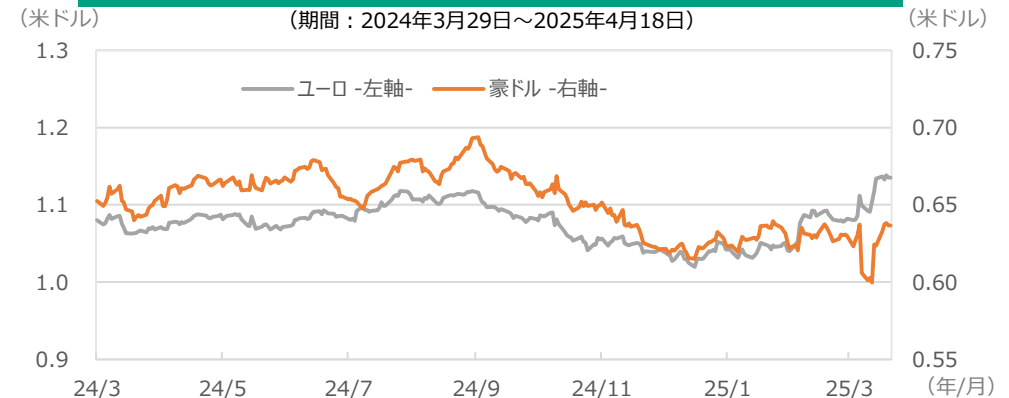
為替レートの推移（対日本円）

（期間：2024年3月29日～2025年4月18日）



為替レートの推移（対米ドル）

（期間：2024年3月29日～2025年4月18日）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>